

東日本大震災における 義援金の状況

常陸大宮市及び常陸大宮市教育委員会には、市内外の多くの方から義援金が寄せられています。

皆さんの温かいご支援に感謝し、受付状況をご報告させていただきます。

5月1日現在

196件 1,641万7,621円

前田尚利氏常陸大宮大使に ひさとし

前田尚利氏
(水戸市在住)
が、4月1日
付けで常陸大
宮大使に任命
されました。



前田氏は、茨城県県北総合事務所長、茨城県商工会連合会専務理事等を歴任されたあと、常陸大宮市が誕生した平成16年10月常陸大宮市収入役に就任。平成20年6月に副市長に就任し、平成23年3月31日に退任されました。

常陸大宮市出身。

皆さんからのご支援 ありがとうございました

東日本大震災の際には、市内外の民間企業及び個人そして自治体の方から、食材や飲み物等の食品、衛生用品等たくさんの物資のご支援をいただきました。

皆さんのご支援に心からお礼申し上げます。

善意をありがとう

敬称略

《奨学基金へ》

《新入学児童の安全を願って》



国際交流ボランティアばらの会
(会長 松本 とみ子)
30,000円



常陽銀行より防犯ブザーの寄付



大宮西小体育館で 大宮中の入学式

4月7日、大宮西小学校の体育館で大宮中学校の入学式が行われました。

通常、入学式は大宮中学校の体育館で行われていますが、3月11日に発生した東日本大震災により、校舎と体育館が使用できなくなったため、大宮西小の体育館に会場を変更しての入学式となりました。

大宮中学校は、4月8日から当分の間、1、2年生は山方商業高校、3年生は常陸大宮高校で授業を行っています。

単位：人

■ 中 学 校 ■

学校名	男	女	計
大宮中	91	67	158
第 一	29	19	48
第 二	36	32	68
山 方	22	23	45
美 和	9	10	19
緒 川	19	15	34
御前山	18	18	36
合 計	224	184	408



■ 小 学 校 ■

学校名	男	女	計
村 田	17	15	32
大 場	4	3	7
上 野	16	16	32
大 宮	25	32	57
大 賀	17	9	26
大宮北	14	14	28
世 喜	6	2	8
大宮西	35	35	70
山 方	12	9	21
山方南	11	18	29
美 和	6	10	16
緒 川	10	8	18
御前山	14	9	23
合 計	187	180	367

新入生は775人

4月6・7日、市内の小中学校で入学式が行われました。

今年度は、東日本大震災の影響で体育館が使用できず、入学式の会場を教室等に変更して実施した学校もありましたが、4月6日には市内小

学校全13校で、4月7日には中学校全7校で入学式が行われました。今年度の新入生は、小学生367人、中学生408人でそれぞれ新たな希望を胸に新生活をスタートさせました。学校ごとの入学者数は次のとおりです。

災害ごみの搬入が終了

3月20日から旧小場小学校グラウンドで実施していた東日本大震災による災害ごみの仮置場への搬入が、4月28日で終了となりました。搬入された瓦やブロック塀等のがれきりは約1万3千トン。山積みされた災害ごみは、処理業者により夏までにはすべて撤去される予定です。



▲最終日のグラウンドの様子。奥に見えるのは旧小場小学校校舎

いっしょにまちづくり

茨城大学との交流

中山 喜恵さん 人文学部社会科学科
(平成23年3月卒業)

常陸大宮市は自分の学生生活を語る上でなくてはならない場所となりました。

市と茨城大学が行うさまざまな連携事業に参加させて頂きました。特に4年生の一年間、歴史民俗資料館主催の体験講座「コウゾを育てて和紙を漉こう！」に参加し、和紙を原料のコウゾから作るという貴重な経験ができました。

講座に参加していた小学生たちと夏の暑い日にコウゾ畑の作業や川遊びをしたことなど、とても懐かしいです。活動を通して常陸大宮市の和紙の歴史や現状を学びました。

こうした地元の活動に、大学生が継続して参加させて頂いていることは先進的であり、このような機会が大学という学びと実践の場に設けられていることは大変素晴らしいと思います。今後もこのような取り組みが続いて行くことを願っています。

